

《参考資料》

- 1) 日本がんサポーターティブケア学会(編):がん薬物療法に伴う末梢神経障害マネジメントの手引き2017年度版.金原出版.2017.
- 2) 細川豊史(監):手足のしびれ対策 抗がん薬によるしびれ・痛みー有効な薬の登場で、症状の軽減が可能に.がんサポート.2013;126:36-39.
- 3) 小森明奈:副作用と対処法 神経毒性.坪井正博(監):ナースのためのやさしくわかるがん化学療法のケア.ナツメ社.2012;180-185.
- 4) 矢ヶ崎香(監):末梢神経障害 セルフケアが重要!末梢神経障害はこうして乗り切ろう.がんサポート.2012;101:34-37.
- 5) 上田真由美:末梢神経障害.プロフェッショナルがんナースング.メディカ出版 2012;2(3):53-59.
- 6) 田墨恵子:末梢神経障害.濱口恵子,本山清美(編):がん化学療法ケアガイド 改訂版.中山書店.2012;181-188.
- 7) 柳原一広,福島雅典(監):がん化学療法と患者ケア 改訂第3版-神経毒性.医学芸術社.2012;211-214.
- 8) 石田卓:副作用のマネジメント 神経毒性(主に末梢神経障害).石岡千加史(編).がん治療レクチャー がん薬物療法のマネジメント.総合医学社.2012;3(1);162-166.
- 9) 佐伯俊昭(監):転移性乳がんの治療 手術不能・再発乳がん患者さんに新しい希望!日本発の新薬登場.がんサポート.2011;103:40-43.
- 10) 須谷顕尚,磯部 威:がん分子標的治療薬の副作用とその対策-神経毒性.石岡千加史(編):がん治療レクチャー 分子標的治療薬.総合医学社.2011;2(2);349-351.
- 11) 福田博之,園生雅弘:薬物によるニューロパシー.田村晃,松谷雅生,清水輝夫(編):EBMに基づく追う脳神経疾患の基本治療指針 改訂第3版.メジカルビュー社.2010;633-636.
- 12) 澤田武志,佐々木栄作:神経障害.岡元るみ子,佐々木常雄(編):がん化学療法副作用対策ハンドブック.羊土社.2010;90-94.
- 13) 厚生労働省:末梢神経障害 重篤副作用疾患別対応マニュアル.2009; 5-14.
- 14) 成松恵:末梢神経障害.篠原信雄(監).泌尿器ケア がん化学療法・薬物療法完全ガイド.メディカ出版.2009;163;227-230.

- 15) 畠清彦:抗癌剤による末梢神経障害への対策.メディカルレビュー社.2008.
- 16) 佐々木常雄(監):抗がん剤の作用・副作用がよくわかる本-末梢神経障害.主婦と生活社.2007;120-121.
- 17) ヤンセンファーマ株式会社:ベルケイド適正使用ガイド.2013.
- 18) ハラヴェン静注1mg 適正使用ガイド.2012.
- 19) 白尾國昭(監):末梢神経症状.エルプラット治療のヒント 実地診療での対処法.株式会社ヤクルト.2011;4-7.
- 20) 山口建(研究代表者):厚生労働科学研究費補助金「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書 概要版」.2004.
- 21) ノバルティスファーマ株式会社:アラノンジー適正使用ガイド.2016.
- 22) セルジーン株式会社:ポマリスト適正使用ガイド.2015.
- 23) 小野薬品工業株式会社:カイクロリス適正使用ガイド.2016.
- 24) 武田薬品株式会社:ニンラー口適正使用ガイド.2017.
- 25) 第一三共株式会社:タリージェ適正使用ガイド.2019